

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度第3回相模原市コンプライアンス推進委員会(書面会議)				
事務局 (担当課)		コンプライアンス推進課 電話042-707-7040(直通)				
開催日		令和3年1月22日(金)～1月29日(金)				
出席者	委員	3人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	3人(総務局次長、コンプライアンス推進課長、同総括副主幹)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため				
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 内部統制中間評価報告書について 2 「コンプライアンス推進の取組についての意見書」(案)について 3 相模原市コンプライアンス推進指針の改定について 				

審 議 経 過

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法によらず、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。主な内容は次のとおり(委員、○事務局)

1 内部統制中間評価報告書について

「資料1 内部統制中間評価報告書について」ご意見をいただいた。

不備の発生は見過ごせない事件である。支払遅滞を招いた要因を解明したうえで、国民健康保険診療所における購入業務関係者への問題意識の共有と改善策の取得を徹底すべきである。他方、内部統制基本方針に基づくリスク評価として一定の成果を得られたものと評価ができる。今後も仔細な評価を継続し、事件発生の予防に努めていくことが望まれる。

内部統制については組織全体としてはきちんとしている印象である。

国保の支払遅延が一番大きな問題点なのに、遅延してしまったのか個人的な問題なのか、組織的な問題なのか分からなかったのか。市全体としてはあまり大きな金額でもなく、公金なので誰が損する訳でも、支払って困る訳でもないのに、なぜ遅延させていたのか、まったくわからなかった。

リスク評価と対応は十分になされていると思われる。ただ、実際の業務において単純なミスも少ないとは言えず、個々の職員の注意喚起をどのように促すかが大切であると思われる。

2 コンプライアンス推進の取組についての意見書(案)について

「資料2 コンプライアンス推進の取組についての意見書(案)」についてご意見をいただいた。

本案に異存はない。8ページ「5まとめ」にて、「現場からの意識のボトムアップが重要となる」とあるが、まずは「風通しの良い職場づくり」のための「各所属長」の意識と行動が不可欠であることを強調しておいてもよい。心掛けという曖昧な内容で終始しがちであるため、部下、所属員からの上司、各所属長に対する諫言を述べ、受け入れる仕組みや機会を整備していく必要がある。

当たり障りのない、一般的な内容だと感じた。調査を受けた方も、これを読んで新しい発見のようなものは少ないと思うが、きちんと見守っている人がいる、ということが伝

わるという意味では効果があると思った。

部下の回答（職場における関係）が低いこと、及びハラスメントについてどこにも相談できないという回答が変わらず約3割となっていることについて、中立的な第三者による定期的な聞き取り面談など積極的な介入が必要だと思われる。

3 相模原市コンプライアンス推進指針の改定について

「資料3 相模原市コンプライアンス推進指針（改定）(案)」についてご意見をいただいた。

行動指針の1から6までの掲載順の考え方がわかりにくい。この間の相模原市でのコンプライアンスに関する事件等への反省を踏まえると、まず最優先すべき方針は、市民からの信頼ではないだろうか。市民、法令、働き方の順で、例えば、6、2、1、5、4、3ではないだろうか。

コンプライアンスの確保と推進のための組織体制、仕組み（相談窓口等）を記載しておくとのよいのではないか。

コンプライアンス行動の指針の改定案は一番最初が義務、徹底とか威圧感がある。指針は押さえつける感じではなく、正しい社会ルールの認識や豊かな人権感覚を育成するような明るく前向きな指針が必要だと感じた。

行動指針1つ1つはこちらでよいが、何のための指針であるかを明らかにした方がよい。住民・市民に奉仕するという目的に立ち返るためにも奉仕者としての自覚を促すべきだと思う。

○議題1 内部統制中間評価報告書について いただいた意見を踏まえ、令和3年度以降取り組む。

○議題2 「コンプライアンス推進の取組についての意見書」でいただいた意見を踏まえ、修正を行い、調整の上、次回（第4回コンプライアンス推進委員会）に最終案をご提示する。

議題3 「相模原市コンプライアンス推進指針の改定について」でいただいた意見を踏まえ、修正を行い、コンプライアンス推進会議幹事会及びコンプライアンス推進会議に諮る。

以 上

令和2年度 第3回 コンプライアンス推進委員会委員出欠席名簿
(令和3年1月22日~令和3年1月29日書面開催)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	松井 望	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科教授	委員長	出席
2	亀重 恵美子	税理士	委員長代理	出席
3	白澤 章子	弁護士		出席

